

ボインビューティーの22

全400口 | 1口出資額125,000円(税込) | 総額5,000万円(税込)

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



北米の頂点を知る優れた母系、まずは日本で女王の座に就く

現時点における馬体の特徴と適性

3歳夏から本格化、初G1制覇となったトラヴァーズSで2着馬に13馬身半差を付ける衝撃のレコード勝ちを飾ったのを皮切りに、ブリーダーズクラシック、ペガサスワールドC、ドバイワールドCとビッグレースをぶっこ抜いたアロゲイトは、大スターが相次いで登場した近年の米競馬界でも、飛び切りの名馬だったと評価して構わないでしょう。母は、そのアロゲイトの3歳下の半妹となる超名血馬。競走に出走せず繁殖入りしたが、消耗せずに母となれたことは、今後に向けての好材料とも見えます。この仔に関しては、胸前、腕にかけての筋肉量は、今後の発達待ちといった段階だが、柔軟性に優れた短めの背中、伸びの良い胴、傾斜角度の良さが目立つ肩など、馬体のバランス自体は極めて良好。歩きや身のこなしを見ても、柔らか味と推進力があり、かなりの身体能力の持ち主であることがうかがえます。落ち着いた気性で脚元も丈夫なだけに、スムーズに育成過程を進んでいくはず。大人びた精神面に、身体面の成長が追い付いていけば、素質開花も近付くことでしょう。仕上がりは早く、2歳夏のデビューも十分可能だが、偉大な伯父を見習い、じっくりと成長を見守りたいとも考えています。

友道康夫調教師コメント

半姉を管理させてもらっていますが、父がイントゥミスターからエピファネシアに替わり筋肉量が豊富で迫力のある馬体が目につきます。半姉よりも胴が長めで身体づくりがゆったりしていることから、距離の融通が利きそうです。柔らかみがあり、芝の長いところが向いているイメージが沸き、うちの厩舎にぴったりではないでしょうか。順調に成長して欲しいと思います。多くの方が友道厩舎は長い距離がいいというイメージを持たれているようですが、これまでと変わらないメニューで調整し、マイルやダートで活躍している馬もいます。基本的にはあらゆるカテゴリーで勝てる馬をつくりあげたいと思っています。そして海外にも積極的に挑戦したいと考えています。本馬でまずは厩舎悲願の桜花賞、オークスを狙っていきましょう。

クリスエス	Roberto	
*シンボリクリスエス	Kris S.	Sharp Queen
Symboli Kris S		
黒鹿 1999	ティーケイ	Gold Meridian
エピファネシア	Tee Kay	Tri Argo
Epiphaneia		
鹿 2010	スペシャルウィーク	*サンデーサイレンス
シーザリオ	Special Week	キャンペンガール
Cesario		
青 2002	*キロフプリミエール	Sadler's Wells
	Kirov Premiere	Querida
メス		
鹿毛		
2022.2.26生		
ジャイアンツコースウェイ	Storm Cat	Storm Bird
Giant's Causeway		Terlingua
栗 1997	マリアーズストーム	Rahy
*ボインビューティー	Mariah's Storm	*イメンス
Boyne Beauty		
栗 2016	ディストレイドヒューマー	*フォーティナイナー
バブラー	Distorted Humor	Danzig's Beauty
Bubblers		
黒鹿 2006	グリーシェル	Deputy Minister
	Grechelle	Meadow Star

Roberto:S4×M5 Northern Dancer:S5×M5



管理予定調教師

友道康夫調教師(栗東)

◆1963年8月11日生 ◆2002年開業(22年目) ◆JRA通算676勝 ◆JRA重賞58勝 ※成績は2023年4月16日現在

【主な管理馬】

- ドウデュース:日本ダービー(G1)、朝日杯FS(G1) ●ワールドプレミア:天皇賞・春(G1)、菊花賞(G1)
- ヴィブロス:ドバイターフ(G1)、秋華賞(G1) ●アドマイヤマーズ:香港マイル(G1)、NHKマイルC(G1)
- ヴァルシーナ:ヴィクトリアマイル(G1)2回 ●シュヴァルグラン:ジャパンC(G1) ●マカヒキ:日本ダービー(G1)
- ワグネリアン:日本ダービー(G1) ●アンライバルド:皐月賞(G1) ●アドマイヤジュビタ:天皇賞・春(G1)



ファミリー(母系)

母の父 **ジャイアンツ コースウェイ** Giant's Causeway は米国産。全欧年度代表馬、愛仏英9勝、エクリプスS-G1。北米2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:*ブリックスアンドモルタル(BCターフ-G1)。**【BMS:主な産駒】**ガンランナー(BCクラシック-G1)、ビューティパーラー(仏1000ギニー-G1)、*ホークビル(エクリプスS-G1)、*レモンポップ(フェブラリーS-G1)

母 ***ボインビューティー** Boyne Beauty (16 Giant's Causeway) 米国産。不出走。産駒 チェック エンジン ライト Check Engine Light (20 牝 Uncle Mo) 北米入着 ルーJUSTANING (21 牝 鹿 Into Mischief) 未出走

祖母 **バブラー** Bubblers (06 Distorted Humor) 北米6勝、Gallery Furniture Distaff S-L, Marie G. Krantz Memorial H, Sam Houston Distaff S, Irving Distaff S, ウィジャボード ディスタフH-G3 3着。産駒

アロゲイト Arrogate (牡 Unbridled's Song) 米3歳牡馬チャンピオン、北米6勝、BCクラシック-G1、ペガサスワールドカップ招待S-G1、トラヴァーズS-G1、パシフィッククラシックS-G1 2着、サンディエゴH-G2 4着、UAE 1勝、ドバイワールドC-G1。種牡馬

オザレ Osare (牝 Medaglia d'Oro) 北米2勝、Dueling Grounds Oaks **ダイヤモンド オーレ** Diamond Ore (牝 Tapit) 北米1勝、Busanda S 3着

曾祖母 **グリーシェル** Grechelle (95 Deputy Minister) 北米2勝、ゴールデンロッドS-G3 3着。産駒 **アンブライルド フェム** Unbridled Femme:北米2勝、Valdale S, Edgewood S-L 2着、Bourbonette Breeders' Cup S-L 3着、リグレットS-G3 4着

四代母 **メドウスター** Meadow Star (88 Meadowlake) 米2歳牝馬チャンピオン、北米11勝、BCジュヴェナイル フリーズ-G1、マザーグースS-G1、エイコーンS-G1、フリゼットS-G1、スピナウェイS-G1、メイトロンS-G1、カムリーS-G2、スカイラヴィルS-G2、アストリアBC S-G3、Queen of the Stage S, C C A オークス-G1 2着、スピンスターS-G1 3着。**ベルガランティ** Belle Gallantey (デラウェアH-G1、ベルデイルS-G1)の曾祖母

配合診断

同配合から米G1馬輩出の母に高い資質、芝でもダートでも活躍が望める産駒の誕生

母ボインビューティーは不出走ですが、米最優秀3歳牡馬に輝いたArrogate(BCクラシック、ドバイWCなどG1を4勝)の半妹にあたる良血です。母の父Giant's Causewayは現役時代に欧州で6つの芝G1を制覇。種牡馬としては芝とダートの双方で活躍馬を出しており、本邦輸入種牡馬ブリックスアンドモルタル(米年度代表馬)もその一頭です。「Giant's Causeway×Distorted Humor」という母の組み合わせは、Book Review(米G1ラブレアス)、Carrick(米G1セクレタリアトS)と同じなので上々です。本馬と同じく母方にGiant's Causewayを持つエピファネシア産駒は、出走6頭中3頭が勝ち上がり、ワールドリバイバル(ラジオNIKKEI賞2着)、ランスオブアース(兵庫チャンピオンシップ3着)が重賞で上位争いをしています。芝・ダート兼用の中距離タイプでしょう。